

JIS

十字ねじ回し

JIS B 4633 : 1998

(2003 確認)

(2008 確認)

平成 10 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS B 4633-1991は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、国際規格との整合を図ることに重点を置き、対応国際規格の技術的内容を変更することなく採用し附属書に規定した。さらに、旧JISの内容を一部変更し本体に規定した。

また、JIS Z 8301(規格票の様式)が1996年7月に改正されたのに伴い、それに従って規格票の様式も変更した。

JIS B 4633には、次に示す附属書がある。

附属書1(規定) PH形及びPZ形十字ねじ回し

附属書2(参考) PH形ゲージ寸法の選択についての説明

附属書3(参考) 参考文献

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 29. 1. 30 改正：平成 10. 3. 20

官 報 公 示：平成 10. 3. 20

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 機械要素部会 (部会長 大園 成夫)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課 (☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

十字ねじ回し

B 4633 : 1998

Screwdrivers for cross recessed head screws

序文 この規格は、備考に示す国際規格を元に、本体には、従来日本工業規格で規定していた種類・等級とこれらの形状・寸法、品質、検査、製品の呼び方及び表示を規定し、附属書には、対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく規定した日本工業規格であるが、対応国際規格にはない規定項目(検査、製品の呼び方)を日本工業規格として追加している。

なお、附属書のうち、点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にない事項である。

備考 この規格の対応国際規格を次に示す。

ISO/DIS 8764-1 : 1996 Assembly tools for screws and nuts—Screwdrivers for cross recessed head screws—
Part 1 : Driver points

ISO 8764-2 : 1992 Screwdrivers for cross-recessed head screws—Part 2 : General requirements, lengths of
blades and marking of hand-operated screwdrivers

- 1. 適用範囲** この規格は、JIS B 1012のH形十字穴及びS形十字穴をもつねじ部品に用いる十字ねじ回し(以下、ねじ回しという。)について規定する。ただし、十字ねじ回しビットについては除く。
- 2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。
 - JIS B 1012 ねじ用十字穴
 - JIS B 1501 玉軸受用鋼球
 - JIS B 7725 ビッカース硬さ試験—試験機の検証
 - JIS B 7726 ロックウェル硬さ試験—試験機の検証
 - JIS G 3506 硬鋼線材
 - JIS Z 2244 ビッカース硬さ試験—試験方法
 - JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験方法
- 3. 種類** ねじ回しの種類は、表1により、それぞれの組合せによって8種類とする。

表1 種類

適用する十字穴による種類	H形, S形
本体と握り部との結合方法による種類	普通形, 貫通形
磁力の有無による種類	磁力あり, 磁力なし

参考 S形ねじ回しの先端部は、日本写真機工業規格 JCIS 9-70[精密機器用十字ねじ回しビット(0番ビット)]に準じている。